

## 基本編

まずはカメラの基本的な知識をチェック！  
ホームページに掲載したときに、他店より注目される1枚を撮りましょう。

### 撮影前の準備

#### はじめに確認しよう！

- レンズが汚れていないか確認をしておきましょう。汚れていたら、柔らかい布（眼鏡拭きなど）で拭き取りましょう。
- メモリーカードを初期化して、データ保存容量を確保しておきましょう。
- 写真のサイズを確認しておきましょう。
- バッテリーを充電しておきましょう。  
あると便利・・・三脚：手ぶれと写真が斜めになるのを防げます。

#### 👏 手ブレ

#### 手ブレを防いでクッキリと！

最近のコンパクト・デジタルカメラの多くには、「手ブレ補正」機能が搭載されています。手持ちのカメラに「手ブレ補正」機能がある場合は、ONにして撮影に臨みましょう。ない場合は三脚を使うとよいでしょう。

#### ISO ISO感度

#### キレイな画質で撮ろう！

ISO感度とは、フィルムの「光に対する敏感さ」を数値化したもの。M（マニュアル）設定にするとISO数値が選べるようになります。数値を高くすると、暗いところでも明るく写真が撮れるので、バーや夜景のキレイな店内の写真が暗くなってしまう場合は、ISO感度を上げて撮影してみましょう。また、低感度に設定すると、きめの細かい画像が得られます。ただし、手ぶれが起きやすくなるので、三脚を使うことをオススメします。



#### 【低感度】

ISO感度50で三脚を使って撮影。きめは細かいが、暗い店内は暗く写りません。



#### 【高感度】

ISO感度400で撮影。暗い店内も明るく写ります。ただしきめは粗め。

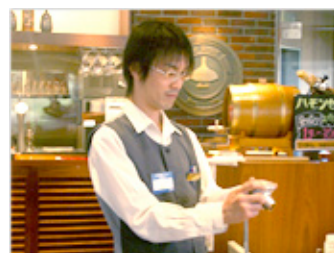
#### 撮る姿勢

#### 良い姿勢でカメラを構えよう！

写真を上手に撮るには、撮影時の姿勢が大切。「カメラを両手で持つこと」と、「脇をしめること」は基本中の基本です。カメラをしっかり固定することで、イージーなミスショットを防ぐことができます。



カメラは両手でしっかり持ちましょう。



両ヒジを体につけるイメージで、脇をしめましょう。

## 露出

### 光の量を調節して、雰囲気を出そう!

目で見ているのと同じ明るさで撮れる状態を「適正露出」といいます。適性露出よりも光量が多い状態を「ハイキー調」、光量が少ない状態を「ローキー調」といいます。何を撮影するかにより、使い分けることが大切です。



#### 【ローキー調】

落ち着いたあるムーディーな画像になります。バーなどの店内撮影に向いています。



#### 【ハイキー調】

明るく楽しい印象の画像になります。カフェなどの店内撮影に向いています。

## WB ホワイトバランス

### 正しい色合いの写真を撮ろう!

白い色が正常に写るように、色を補正することをホワイトバランスといいます。正確な色味で撮影するには、被写体に当たっている光の種類（太陽光or電球光）を確認し、その光のモードにカメラを設定しましょう。



#### 【電球光が当たる料理を「電球光モード」で撮影】

目で見ているのと同じような、正常な色合いの画像が得られます。



#### 【電球光が当たる料理を「太陽光モード」で撮影】

オレンジ色がかった暖かみのある画像になります。

### さらに正確な色合いで撮影するには・・・

手でホワイトバランスを調節する方法があります。「マニュアルホワイトバランス」の設定画面を出し、被写体と同じ光のもとで、白い物（おしぼりや紙ナプキンなど）を撮影し、その後、改めて被写体を撮ります。カメラに正常な白を認識させることで、より正確な色合いの画像が得られます。

## 画像サイズ

### ちょうどよい大きさに撮影しよう!

アサヒビールのホームページ掲載用は、一番小さいサイズ(640×480)による撮影で十分です。ただし、印刷してメニューやPOPなどに使う場合は、大きいサイズでの撮影が必要となります。撮影時に大きいサイズと小さいサイズの2cutを撮っておくと、以後さまざまな用途で使う際にも便利です。

※アサヒビールのホームページに掲載する写真の大きさは横：縦＝4：3の比率のものをご用意ください。